



広報 あくな

第384号

住民基本台帳人口と世帯数
(12月1日現在)

人口	30,601 (+22)
男子	14,254 (+29)
女子	16,347 (-7)
世帯数	9,441 (+6)
()	内は前月比

昭和43年9月20日 第3種郵便物認可・毎月1回10日発行
昭和54年1月1日 鹿児島県阿久根市役所編集発行 1部10円



おめでとう

一九七九年

だれかが裸のまま一人で校庭に走り出した。すると、間もなく後を追うように二、三人の子供たちが校庭に飛び出して、やがて数十人が校庭を走り回る。夏の暑い日も、寒い冬の日も、登校した子供たちは、だれからともなく走るようになって十五年。いまでは、鶴川内小学校の伝統になっている。朝露を気持ちよさそうに踏んで走る子供たちの表情は、無邪気で明るい。

校庭を走る鶴川内小学校の子供たち

1月号

調和ある町づくりへ飛躍の年

更にきめ細かな市政を推進



阿久根市長 坂元 善文

市民の皆さんあけましておめでと
うございます。新しい年を迎え
ますもって皆様のお仕事の発展と
ご繁栄を願ってやみません。

昨年は、市政に対し一方ならぬ
ご協力を賜わり、誠にありがとうございました。
ごさいました。おかげをもちまし
て、皆様方のご協力のもとに、市
政の拠点である市庁舎並びに老人
福祉センター、尾崎小学校体育館
勤労者体育センターなどが完成し
ました。都市計画事業、農業構造改
善事業、市道の改良舗装工事など
が順調に進捗しており、市民生活
に直結したきめこまかい施策、す
なわち、住みよい環境づくりや教

育施設の充実、社会福祉などの充
実を念願して、懸命に努力してま
いりました。

いま、昭和五十四年の年頭にあ
たり、過去営々として実施されて
来た諸事業を基本として、明るく
希望のもてる豊かな阿久根をつく
るために努力しなければなりません。
本年は阿久根市にとって飛躍
の年になるものと思います。と申
しますのは、工場誘致で食肉業界
の大手メーカーである株式会社ゼ
ンチクが、本市にハム工場を建設
することが決定し、本年十月従業員
二〇〇人で創業を開始します。そ
して将来は従業員五〇〇人を目

標としておりますので、市としま
しても用地購入など大いに協力し
て発展させることにより、青年層
が定住し人口の増加が図られるも
のと思っております。

そのほか農業では、農村地区の
画期的な振興を図るための総合農
村整備計画の実施、水産では阿久
根漁港、深田港の第七次漁港整備
計画への編入また長崎とのカーフ
フェリー就航など数多くの懸案事項
があり、これらを解決することに
よって大きく飛躍するものと思
います。

このように私達がいつもこい願
っていることは、阿久根市の発展
と社会福祉の向上であります。
私共は郷土阿久根市のよさを掘り
おこし、三万市民の願いである、
「明るく、住みよい、調和のとれ
たまちづくり」をめざして、努力
しなければなりません。市民の皆
さん、本年も市政に対し、倍旧の
ご協力を賜わりますようお願い致
しまして、新年のあいさつと致し
ます。



第4回定例市議会

農協の研修施設に五割補助

一般会計に約一億円を追加

第四回定例市議会は十二月五日から二十日まで十六日間の日程で開かれ、認定一件、議案二十四件を審議し、それぞれ原案どおり可決しました。

このなかで、一般会計の補正予算として一億五千七百八十七千円を追加、予算総額を五十七億四千六百六十九千円としました。財源は地方交付税など国や県の補助がほとんどとなっています。

補助することになっています。また同事業による公民館施設への補助は、原則として百万円が限度となっていますが、現在、新築中の中村公民館は、事業費が大きかったことから、市では特別に上積みをお願いし、百十六万円の補助が決定しています。

農道舗装にも補助

二百二十万円の追加しました。特用林産振興対策事業として狩集線（尾崎）など十線三千三百円の作業道開設に、事業費の六〇％を助成することにしていましたが七〇％に増額。尾原のモノレール設置事業の補助も五〇％から六〇％に増額。鶴川内タケノコ生産組合などの動力運搬車購入の補助も五〇％に増額。タケノコの主産地を目指して竹林振興を図ります。

ブロック魚礁投入

漁協関係では黒之浜漁協が予定しているブロック魚礁投入と、阿久根漁協が行うタイヤ魚礁投入に補助するほか、阿久根漁協の製氷工場建設の補助を増額します。

農道舗装にも補助

このほか、黒之浜港改修事業の地元負担金を追加、小瀬港内の水深を深くする土砂さらえを行うよう予算措置しています。

浦地区の農道（旧・市道浦線）

を県単事業で舗装。桐野地区の農道舗装にも補助する予定です。

臨本診療所跡で歯科診療所が開業することに決定したため、同診療所を一部改造するほか、開設資金を融資することになっています。

このほか、中村部落と本之牟礼部落の有線放送施設アンブ取替に対する補助や老人医療費の不足分などが追加されています。

認定一件は五十二年度歳入歳出予算の決算認定。議案二十四件は勤労者体育センターの完成に伴い同センターの設置および管理条例を定める議案や、選挙ポスター掲示場の設置条例のほか、一般会計や特別会計の追加予算などが主な議案でした。

大瀬運動広場新設や

竹林作業道開設に補助

一般会計の追加予算は国や県の補助が決まったものが主なものでこの中には、現在、改築中の阿久根農協庁舎内に、総合地域施設として完成する研修施設に対して、国庫補助金二千五百万円を導入。同農協に補助する考えです。



尾崎の狩集線など竹林作業道新設十線に補助

成人おめでと

一月十五日は「成人の日」ですが、阿久根市では一月三日、市民会館大ホールで行われます。

成人になったことの象徴ともいえる権利の一つに選挙権があります。私たちは選挙権を行使することによって、国政をはじめ県や市の地方政治に参加する機会を得るのです。選挙権は、日本国民で年齢が満二十歳以上など、諸要件を満たした人に与えられますが、実際に選挙権を行使するためには、選挙管理委員会が作成する選挙人名簿に登録されることが必要です。

選挙人名簿は一定期間、公開されますが、登録もれの場合、補正登録ができます。できるだけ登録を確かめて、選挙権がムダにならないよう心がけたいものです。

また、満二十歳になると、国民年金に加入できます。しかし「老後なんてまだまだ先の話」と考えがちですが、将来受け取る年金は加入が早いほど有利です。今後、老人の割合は増える一方で、老後の生活設計は、若いうちから考えておきたいものです。



市庁舎、消防署の完成に続き、このほど老人福祉センター、勤労者体育センター、尾崎小身体などが完成。都市計画事業や食肉センター整備事業と相まって、伸びゆく阿久根を象徴しています。そこで、これらの事業を紹介します。



完成した老人福祉センター

老人福祉センターが完成

お年寄りの殿堂と大喜び

総事業費 一億三千万円 盛大に祝賀会

ちょうど望絶原の国民宿舎隣りに老人福祉センターが完成。約千五百人のお年寄りが参加して、十二月十八日市民会館大ホールで、昭和五十三年度老人福祉大会と合同の完成祝賀会が行われました。

式典では工事経過報告のあと坂元善文市長が「老人福祉センターは市民がプレゼントした皆さんの施設です。大いに利用して、これからの人生を楽しく有意義に、生きがいのある日々を送ってください」とあいさつ。牛之濱水雄市議会議員長、谷口静蔵市老人クラブ連合会長のあいさつに続き、老人クラブ活動に功績のあった人たちが表彰を受けました。

式典後、各老人クラブなどが歌や踊りを次々と披露。お年寄りの殿堂、老人福祉センターが完成したと大喜びしていました。

鉄筋コンクリート造りの同センターの床面積は八百二平方メートル。一階は健康相談室、リハビリテーシ

ョンルーム、娯楽室、調理室、浴室など、二階はステージつき百十畳の大集会室や和室などを収容。浴室は温泉となつています。なお総事業費は約一億三千万円。年金積立金還元融資を受けています。

開けゆく 阿久根を象徴

竹湯老人クラブ会長

猿楽清蔵さん



老人研修の拠点となる老人福祉センターが完成し、老人約千五百人が集まり

盛大に祝賀会が行われました。これは完成を喜ぶ老人の方々の心の現れだと思えます。思えば市庁舎と前後して新しい二つの殿堂が完成し、開けゆく阿久根市を象徴しています。完成を契機に一層協力し、仲間づくり郷土づくりに尽くしたいと思えます。

老人クラブ活動 貢献者など表彰

老人福祉大会

老人福祉センター落成式と合同で行われた老人福祉大会で、老人クラブ活動に功績のあった次の方が表彰を受けました。(敬称略) 特別表彰 石沢章、大田庄吉、八幡清、瀬之浦ユリ子、中村フヨ、小原豊光

一般表彰

(五年以上十年未満)

- 田淵勲、倉津大助、河南建蔵、川崎豊助、西其吉、庵重義、浜上均、寺地ヤエ、浜崎栄、富水富市、末吉喜八、谷口静蔵、上野重春、中平茂、大進休次郎、中野時雄、大庵秀夫、大尾友吉、清水清秋、岩崎武夫、野畑清、浜之上九州男、黒水肇吉、川畑開、白浜貫行、故新坂上利助、川崎国吉、宇都松栄池脇正弘、福留明、川畑淳、牛之浜東市、松水次郎吉、川畑ハツエ、黒崎源吉、松永オトマツ、大前福市、鶴田友吉、奥平告夫、児玉利和、迫田清蔵、米次次太郎、桑原謙蔵、牧内義雄
- 一般表彰(三年以上五年未満)
- 浜崎高蔵、仲村源七、堀山庄吉、吉利鉄男、折サト、小田正吉、平田ツヨ、山平助助、南武徳、奥平善吉、徳田フチエ、横口健児、森鉄市、堀切俊彦、谷口静男、牛之



完成した勤労者体育センター

勤労者体育センター

事業団施設を「誘致」

総事業費 一億二千万円
市が受託管理

総合グラウンド隣りに勤労者体育センターが完成。十二月十八日真新しい同センターで祝賀会が行われました。

祝賀会には市内の誘致企業などの関係者約二百五十人が出席、同センターの完成を祝いました。

勤労者体育センターは雇用促進事業団の資金八千万円に、阿久根市が三千四百二十万円を加え、総事業費一億四千二百二十万円で建設したものです。鉄骨平家建ての同センターの床面積は千四百四十平方メートル、市体育館とほぼ同規模です。ここは雇用促進事業団の施設を阿久根市が委託を受けて管理することになり、市内の職場で働く雇用保険被保険者への「還元施設」

として、勤労者やスポーツ愛好者に喜ばれています。

身心の疲労回復に
大いに利用したい

鹿兒島製靴社長

松元茂夫さん



「企業と市長と語る会」の席上で、初めて公にされた勤労者体育センターが、短時間の中に現実のものとなり驚嘆しています。近年、社会体育は高揚の一途をたどり、ここ更に盛んになると思いますので、同センターの完成は実に時を待た行政の賜物です。

されるもので、新しい住宅は第二種公営住宅となっています。入居できる世帯は、夫婦と子供二人の標準的な家族の場合、家族の年収が二百五十万円以下（月収約十七万八千円）以下となっています。総事業費は約三千四百万円。このほか三月には県営住宅二十四戸が渡留、南方神社近くに完成。

市営住宅八戸を新築

市冷蔵庫隣りに三月完成

市では市冷蔵庫の近くにある春日市営住宅（西目高之口）に、八戸の公営住宅を新築することになり、十一月月上旬着工、三月末完成を目標に工事が進められています。新しい住宅は第二種公営住宅で

鉄筋コンクリートづくり二階建てで、延面積は四百六十七平方メートル。一戸当たりの床面積は五十八・四平方メートル（約十七坪）で、一階は六畳の和室と台所兼食堂、便所、浴室、二階は六畳と四・五畳の和室となっています。

公営住宅は低所得者を対象に、住宅に困っている人たちに貸与さ

浜庄右衛門、瀬之浦伝、陳尾秀夫、野畑義徳、川畑豊二、中野秀夫、遠矢為一、矢橋荘太郎、弓場藤七、武田知三郎、宇都新太郎、猿楽小次郎、新留床吉、柏木光徳、三反田清次郎、大田義助、知識時長、松田矢次郎、大石岩重、花木東一、猿楽清蔵、柳小八、新留矢平、京田弥蔵、外戸口仲次郎、下園三太郎、鶴田庄一郎

協力者表彰 飛松美敏、竹割守、山口昭典、松木幹夫、坂元辰雄、神田徳治、的場セン、石沢正徳、馬見新昇、川畑キサエ、牧尾栄喜、牛之浜仁吉、川畑シズエ

連合会長表彰個人 中野時雄、浜上均、野畑清、牧内義雄、八郷清、大連休次郎、桑原謙蔵、故新坂上利助、黒永峯吉、上野重春、大尾友吉、柏木光徳

連合会長表彰団体 鶴之浦東、渡留、佐瀨、諏訪、下桑、牛之浜各老人クラブ

**勤労者体育センターの
使用申し込みは市教委**

勤労者体育センターを使用した方は、あらかじめ印鑑をもって市教育委員会にお申し込みください。使用料は市内に勤務されている雇用保険の被保険者と市内の団体が体育を目的に使用する場合は無料。それ以外は有料。詳しくは市教育委員会へお問い合わせを。

市街地の整備すすむ

都市計画 幹線街路など完成

都市計画事業による鶴見・湖地区四十四分の区画整備構想を明らかにした本市では、五十三年度から五十七年度までに、総事業費約七億二千万円で、まず鶴見地区十路と区画街路の一部が完成。市街地の整備が進んでいます。

三谷を区画整理。近代都市づくりを進めています。すでに本年度は、鶴見川一号橋のほか、幹線街路と区画街路の一部が完成。市街地の整備が進んでいます。

一部です。
五十三年度は、このほか新市庁舎前から県道阿久根港線までの間にある建物など十件の移転交渉を行い、五十四年度は約二億円で市役所前から阿久根港を直線で結ぶ幹線街路・港湖線のほか「大和」の裏側から市民会館道路に通じる区画街路と光接寺前から市民会館道路に接続する区画街路など六線と二橋梁、家屋移転十三戸などを行うことにしています。

「雨天体操も大丈夫だよ」

尾崎小に体育館



「新学期から体育館が使えるぞ」と子供たちは大喜び

昨年の九月着工した尾崎小学校（尾曲文雄校長、児童六十三人）の体育館が、このほど完成。一月十日、真新しい体育館で祝賀会が行われることになっています。
同校体育館は昭和五十四年度建設の予定でしたが、五十三年度建設予定の山下小学校体育館が一年早く完成したため、尾崎小学校の体育館も、一年早く繰り上げ完成したものです。
完成した新しい体育館の床面積は、国の基準による五百三十二平方メートル。昨年三月完成した山下小学校と同じ規模。鉄筋コンクリート造りで事業費は約五千万円です。
念願の体育館が完成して子供たちは「これで雨天体操も大丈夫」と、三学期から始まる新しい体育館での授業を待ち望んでいます。
同校区は文旦やタケノコの生産

地として知られ、体育施設に乏しいため「社会体育にも役立つ」と校区民は喜んでいました。

体育館完成 うれしい

尾崎小六年生



折橋俊勝君
長く待ち望んでいた体育館が完成した。これまで雨天の日は、体育や児童集会ができなくて、たいへんこまった。また、卒業式や入学式は、二つの教室の間の壁を取りはずして行われていたので、その前日は、式の準備で教室が使えなくなり勉強できなかった。
でも、念願の体育館ができた。早く雨天の日に体育をしたい。

償却資金は 今月申告を

土地や家屋以外の事業用にする資産で、減価償却費が法人税法または所得税法の定めによる損金や必要経費として算入される償却資産は、一月三十一日までに申告しなければなりません。申告の必要方は期日までに申告ください。
詳しくは税務課固定資産係（☎1211内線444）におたずねください。

寒さと血圧



寒くなってきましたと、血圧が上がるということは皆さんもご存知のことですが、寒いと反射的に皮膚の毛細管や体の中の小細動脈が収縮し、そのために圧力に対する抵抗が増加して、血圧があがるということが考えられます。
しかし、細かく分析しなくても寒さにさらされるといことは一種のストレスで、それには体の交感神経系の興奮や副腎皮質ホルモン分泌がさかんになることが考えられ、このために血圧が上昇することになります。

鹿県一の場に拡大

食肉センター増改築工事始まる 9万頭処理から、18万頭へ



食肉センターの整備は畜産振興にも役立ちます

食肉センターを二倍にグレードアップする増改築工事が始まり、「鹿児島県一」の公営と場を目標として、工事が進められています。同センターの処理能力は、現在牛・豚を合わせて年間九万頭、これを五十四年度から計画的に処理頭数を増やし、五十七年度から豚を十八万頭、牛を六千頭処理できるように規模を拡大。出水・川麻地区を含めた広域食肉センターと

して整備するもので、民間企業を含めたと場では三番目の規模ですが、公営企業では「鹿児島県一」の食肉センターとなります。浄化槽施設整備を含め五億四千五百万円投入。総事業費四億二千万円で、木造と場から鉄骨鉄筋コンクリート造り二階建ての近代的な建物となる新しい食肉センターの床面積は、

二千四百五十七平方メートルで、現在の建物の約三倍。いままでと違って電設台でと殺、エアナイフで前処理して大型豚皮はぎ機で自動的に皮をはくなど、三月末には近代的な設備になります。また、食肉センターの増改築工事に伴って、このほど一億二千五

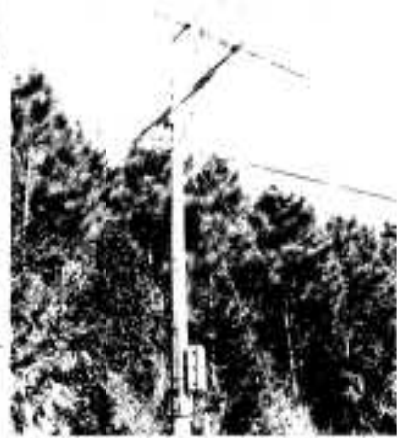
百万円で浄化槽施設の増設工事も発注、汚水処理など公害対策にも万全を期すことにしています。同センターの整備は、本市だけでなく鹿児島県の畜産振興にも大きな役割を果たす一方、株式会社ゼンタクのハム工場進出の引き金にもなっています。

テレビ映像はピツタリ

本之牟礼に共同アンテナ

テレビの難視聴地域、本之牟礼に、このほど共同アンテナが完成。「これで鮮明なテレビ放送が楽しめます」と、関係者は喜んでいました。

本之牟礼は大川区の山間にある戸数二十八戸の小さな集落。四方を山で囲まれているためテレビ映像の映りが悪く、同部落の高台に共同アンテナを設置したものです。



完成した共同アンテナ

総事業費二百六十五万円のうち百八万五千円ずつ県と市が補助。

一戸当たり十万八千五百円を補助して、テレビ難視聴地域の解消を行ったものです。テレビ共同受信組合の岩崎知止組合長は「これで紅白歌合戦が楽しみます」と明るい表情で話していました。

高血圧の人が注意しなければならぬことは、暖房で温められたオフィスや家の中から、急に寒い戸外に飛び出すことは、血圧を急にあげ、脳卒中や心臓発作（狭心症）を起こす原因となりますので努めて避けることです。正月は新年宴会シーズン、酒を飲んですぐ寒い戸外の風さらさられないよう注意いたしましょう。（出水郡医師会）

訂正とおわび

広報「あくね」十二月号七ページの牛之浜漁港整備陳情の記事で「七次計画では現在の港の三倍にする計画で、南側に新港などに困っています。深田港を黒之浜港の避難港としての役割をもった新漁港に建設して頂きたい」とありましたが「七次計画では現在の港の三倍にする計画で、南側に新しく百七十以上の防波堤と漁港入口に離岸堤を築き、更に物揚げ場をつくらせて頂きたい」と陳情の誤りでした。訂正しておわびいたします。

飲酒運転 即、免許取消し

家族ぐるみ職場ぐるみで飲酒運転を追究しよう。

伸びゆく阿久根市

長崎航路、開発へ

早期実現にむけ努力

長崎県も就航へ本腰

昭和四十六年に長崎県野母崎と阿久根間にカーフェリーを就航させる構想が発表されて八年、南九州と西九州を結ぶ広域観光の切り札と期待される同航路は、長引く経済不況の中で就航は見送られていきます。そこで新年に当たり、同航路に期待する両市町の動きを追ってみました。

路は就航見送りとなっています。

野母崎町

長崎県野母崎町は同航路の就航に振興のすべてをかけて、総工費五億六千万円を投入し臨海港を改修。すでにフェリーふ頭や可動橋

阿久根市

野母崎町に呼応して本市では昨



しかし、石油ショックによる経済不況が厳しく、三百以上の貨物輸送を兼ねた航路は石油ショック以前の経営状態に持ち直したものの、百内外の航路は不振で、カーフェリー業界の九〇％が赤字経営を続けていることから、同航

広域観光への課題



早期実現に向け12月中旬、駅前には再び広報場も立てられました

年六月、市議会に同航路促進対策特別委員会が発足。その後、坂元市長、牛之濱市議会議長、岩崎商工会議所副会頭、谷口観光協会会長ら調査団九人が長崎県を訪問、野母崎町関係者らと情報交換したあと、フェリー会社の意向を打診するため長崎自動車を訪れ、フェリーの早期就航を要請しました。

フェリー会社が作成した試算表では、中古船を購入して運航した場合五年間で十億八千万円の累積赤字、新船の場合は十三億八千万円の累積赤字。「採算に合わないので、景気回復を待ちたい」との説明がなされています。

対策、練り直しへ

フェリー会社が示した試算表は基礎になる算定基礎などに見直し修正すべき点があることから①長崎・鹿児島両県で、権威ある専門の経済調査研究所に公正な立場で試算表を作成して頂く②就航の結果、赤字になる懸念もあるので、赤字に対しては一定割合の補助を長崎・鹿児島両県にお願いする③などを具体化していましたが、フェリーふ頭が完成している長崎県が赤字報告を懸念、難色を示したため、市では、再び長崎県と対策を練り直し、会社へ早期就航を働き掛けることにしています。

社協だより

次の方々から、市社会福祉協議会に寄付がありました。

- 香典返し寄付(敬称略)
- 八幡連(八幡) 新坂上シズ(中村)
- 神之田悦男(神仁田) 川畑隆(釣場) 川保新一(上原)
- 牛濱ユリ(高松)

在宅医さん

在宅医の診療時間は午前九時から午後五時までです。急患のかた以外はご連絡ください。

- 一月一日
- 阿久根内科②0578(新町)
- 林病院③0836(本町)
- 濱之上医院⑤2600(脇馬場)
- 一月二日
- 上園医院③1055(本町)
- 田中医院③0553(大丸)
- 平 医院⑤2626(吉里)
- 一月三日
- 北園医院②0016(本町)
- 中村病院②0015(大丸)
- 黒木医院⑥0200(下村)
- 一月七日
- 堀切医院②0263(高松)
- 高多医院②0038(大丸)
- 石原医院⑤0045(鶴之東)
- 一月十四日
- 阿久根内科②0578(新町)

療養所が名称変更

4月から国立阿久根病院

今年は外来管理棟が完成



50年に鉄筋二階建ての北病棟が完成して以来、毎年整備

国立阿久根療養所では十月二十五日、厚生省に名称変更を申請。同省の許可を待って、四月一日から「国立療養所阿久根病院」に変更することになります。また、本年度は昨年からの着工している外来診療棟および管理棟が完成、国立医療機関として面目を一新します。

国立阿久根療養所の整備状況

年度	施設整備の内容	事業費
49-50	2階建て病棟(結核患者) 100床を新築	1億4700万円
51	平家建て病棟(一般患者) 55床を新築	8550万円
52	2階建てサービス棟が完成	1億8300万円
53-54	外来診療棟および管理棟を新築	1億4000万円
合計		5億5550万円

療養所から病院へ
イメージチェンジ

国立阿久根療養所の名称変更は従来の「結核療養所」というイメージを一掃し、一般病院にイメージチェンジしようというもので、市民待望の「国立病院」へのステップとして期待されています。

同療養所では地域住民の医療需要にこたえて、昭和四十六年から一般患者を収容、内科・外科の外来

診療を行っています。結核患者が少なくなる反面、一般難病の患者が増加しつつあります。

特に最近では疾病の複雑、多様化慢性化に伴い、一般病の入院希望者が増加していますが、出水・川内・宮之城・大口を含めた北薩地区診療圏の人口十万人当たりの病床数は五百三十床で、県平均の七百七十七床を下回っています。

また、死亡率の高い脳卒中、ガン、心臓病などの成人病疾患を収容する施設が不足、病床数を増やし、これらの慢性成人病や小児ぜんそくなど小児難病などを治療する北薩地区の国立医療機関として整備する計画を進めています。

四十九年から整備に
五億六千万円を投入

同療養所の整備は四十九年から始まり、これまでに約五億六千万円を投入。すでに五十年度に二階建ての北病棟が完成したのを皮切りに、五十一年度には平家建て病棟、五十二年度にはサービス棟がそれぞれ完成。五十三年度から五十四年度までの二年連続事業で、現在、外来診療棟および管理棟の新築工事が進められています。

更に外構工事や平家建て病棟の増築、機能訓練棟の改築などについては、坂元市長が自ら上京、厚生大臣と折衝する予定です。

内山病院 ③1551(高松)
濱之上医院 ⑤2600(藤島)
一月十五日

上園医院 ③1055(本町)
林病院 ③0836(本町)
平医院 ⑤2626(吉里)
一月二十一日

北国医院 ②0016(本町)
田中医院 ③0553(天丸)
黒木医院 ⑤0200(下村)
一月二十八日

堀切医院 ②0263(高松)
中村病院 ②0015(天丸)
石原医院 ⑤0045(鶴之東)

市営住宅入居
希望者を募集

市建設課では市営住宅に空き家ができた場合、入居者を募集するため、二月一日から二月二十八日まで入居希望者を募集します。

三月に春畑市営住宅に完成する八戸の市営住宅への入居希望者など、市営住宅に入居したい方は、期日までにお申し込みください。

なお、入居希望者への説明会を二月一日(木)午前十時から正午まで、市役所大会議室(二階)で行います。ご出席ください。

詳しいことは都市計画課(☎③1211内線141)に、おたずねください。

阿久根を開く国・県の事業

黒之浜港の拡張工事すすむ

事業費投入
三億七千万円

54 年度でほぼ完成

黒之浜港の南側に新しい防波堤を築き、「黒之浜新港」をつくる改修事業は、五十四年度完成を目標に順調に進められています。同港の改修事業には、これまで三億六千七百二十万円を投入。県営事業として四十九年度から始ま

約七千万円を負担しています。五十二年度までに六十メートルの護岸工事と、七十八メートルの防波堤本体工事のほか、新港内の水深を三メートル深くする千三百七十平方メートルのしゅん

せつ工事を完了。本年度は三月までに六十五・七メートルの防波堤本体工事と、物揚げ場の一部三十五・七メートルが完成。千四百二十平方メートルのしゅんせつ工事を完了します。本年度末には四十五メートルの場所打ち工事を残し、百二十メートルの防波堤が完成することになります。五十四年度末には百三十五メートルの防波堤と物揚げ場などが完成。必要によっては五十五年以降、十メートルの防波堤を延長する予定です。



拡張工事が進む黒之浜新港
左側は現在の黒之浜港

別表. 黒之浜港改修事業費負担割合

年度	国	県	市	合計
49	20,137	14,440	7,623	42,200
50	26,680	8,000	5,320	40,000
51	20,000	20,000	10,000	50,000
52	32,000	32,000	16,000	80,000
53	62,000	62,000	31,000	155,000
計	1億9,817千円	1億3,644万円	6,994万3千円	3億6,720万円

新田川堤防など改修

総事業費
四千八百万円

高潮対策すすむ

海岸保全高潮対策事業で、船本新田川の橋門や堤防などの改修工事が進められています。

する一方、堤防三百五十メートルを改修し、排水を悪くしている橋門上流の土砂さらえを行います。本年度は二千百万円を投入。三

新田川は、笠山山麓の瀬の前、古里などの排水が流れ込み、海岸と隣接する下流では橋門が老朽化しているため、満潮時には海水が流れ込み、上流の水田三十六アが被害を受けています。

なお、総事業費は約四千八百万円。うち国が約三千三百万円、県が約千三百万円、市が約三百万円をそれぞれ負担します。

このため、二年計画で新田川の木造橋門をステンレス橋門に改修

誕生
おめでと

出生児 保護者 区名

奥 智子	義人 (上野)
杵 由美子	実 (大川島)
遠矢 真二	和一 (下桑)
脇岡 基樹	明伸 (脇馬場)
牛之濱 智美	重幸 (大川島)
鶴崎 秀和	秀樹 (上野)
栗 基恵	基多夫 (東牧内)
下園 龍一	信 (寺山)
松林 明美	盛政 (大丸)
大曲 孝子	直幸 (高松)
倉津 みづえ	澄孝 (倉津)
富永 弥生	寛 (尾崎)
川俣 宏美	政文 (尾崎)
黒水 博子	満 (黒ノ浜)
遠屋 真吾	安夫 (上原)
福浦 彦喜	太市 (黒ノ浜)
南 靖代	英徳 (牛ノ浜)
梶尾 加奈	豊志 (黒ノ浜)
山元 満夫	美利 (深田)
寺下 直子	耕太郎 (鶴之西)
西田 学	喜一 (桐ノ上)
浜之上 史泰	久志 (大谷)
半仁田 源	健二 (鶴之東)
野村 幸生	直武 (黒之浜)
早瀬 広志	洋行 (黒之浜)
大瀧 有司	博 (下村)
宮原 百合	正守 (下村)
松本 真由香	五男 (脇馬場)
西田 大樹	隆盛 (高之口)
黒崎 力	武雄 (一段)

脇本バイパス、一部着工

宮崎神社から隈元山まで



工事が始まる三笠青果市場前

折多地区の冠水解消へ

県は五十四年度から五十九年度までの五年計画で折多地区の水田百七十九分の冠水対策として、総事業費六億五千万円を投入して、折多地区のたん水防除事業に着手することにしています。

計画では折口川橋門から七十分の導水路をつくり毎秒二・五分の排水能力をもつポンプ二台を設置、野田町餅井排水路の二千二百分を整備する計画です。五十四年度は全体設計に着手、本格的な工事は五十五年度着工です。

折多地区の冠水解消へ
県は五十四年度から五十九年度までの五年計画で折多地区の水田百七十九分の冠水対策として、総事業費六億五千万円を投入して、折多地区のたん水防除事業に着手することにしています。

計画では折口川橋門から七十分の導水路をつくり毎秒二・五分の排水能力をもつポンプ二台を設置、野田町餅井排水路の二千二百分を整備する計画です。五十四年度は全体設計に着手、本格的な工事は五十五年度着工です。

「お冥福を お祈りします」

- 福田 チエ 71 (上桑) 幸吉
- 溝上 末吉 87 (横手) スエギク
- 下崗 権四郎 87 (尻中) 初美
- 重 十太郎 83 (上野) アイ
- 松元 ニワ 81 (高松) 義廣
- 大城 高喜 59 (港町) 光高
- 鬼塚 ニワ 63 (琴平町) 廣古
- 川畑 福次郎 76 (的場) 隆
- 新井 萬蔵 46 (杵) 友助
- 末吉 キクマツ 89 (遠矢) 昇
- 牛濱 重治 70 (高松) ユリ
- 新坂上 利助 68 (中村) シツ
- 神之田 アセノ 89 (仲仁田) 悦男
- 弓木野 茂幸 35 (弓木野) 敏
- 桑原 久枝 78 (下桑) 一喜
- 川畑 豊二 79 (川畑中) カスミ
- 花園 榮次郎 93 (大川島) 義隆
- 宮原 フジ 82 (上原) 秀義
- 小村 スギ 56 (瀬之下) エダ
- 山川 裕子 0 (上原) 重昭
- 中村 キクエ 50 (脇本浜) 邦弘
- 川俣 浪江子 60 (上原) 睦子
- 濱之上 キヨ 82 (黒之上) 時哉
- 八郷 卯次郎 98 (八郷) 進



今春早々脇本に 歯科診療所開業

第四回定例市議会
北九州市に住む韓国出身の歯科医 李載仁さん (41歳・写真) の脇本診療所利用許可について提案され、万福

用地買収が難航している国道389号線脇本バイパスは、一部、用地交渉がまとまって、十二月十四日入札があり着工しました。

同バイパスは国道389号線の脇本山仁田から梅之浦西公民館の北側を経て、三笠青果市場から宮崎神社前までの一・七五キロ。着工したのは宮崎神社から隈元山までの四百九十五分です。

山仁田側の五百分も買収を終っていますが、梅之浦の用地約九千七百平方分の買収が進まず、捨て土や工法的な面から宮崎神社からの着工となったものです。

一致で許可する議決がなされました。李さんは十二月二十四日本市を訪れ、坂元市長と面談。今春早々にも、脇本診療所跡で歯科診療所を開業することになりました。李さんはソウル大学歯学部を卒業、四十年から七年間、ソウルで歯科医院を開業。四十七年から九州歯科大学に入り、同大学院で博士号を取得されています。

一致で許可する議決がなされました。李さんは十二月二十四日本市を訪れ、坂元市長と面談。今春早々にも、脇本診療所跡で歯科診療所を開業することになりました。李さんはソウル大学歯学部を卒業、四十年から七年間、ソウルで歯科医院を開業。四十七年から九州歯科大学に入り、同大学院で博士号を取得されています。

県道・荒崎黒之浜線 局部改良工事をすすむ

脇本小瀬地区

脇本小瀬では県道、荒崎黒之浜線の改良工事が進んでいます。小瀬は阿久根市の最北端、八郷の隣りにあり、梅之浦西から荒崎

所では「梅之浦地区では、ほ場整備の計画が具体化しつつあるようです。ほ場整備ができる、用地も計画より少なくなると、お互いの減少によって問題は解決できま

に通じる同県道は、道路が狭く曲りくねっているため、県が四十八年度から総事業費一億六千万円で局部改良工事に着手。現在、八郷から小瀬まで八百分の改良工事を終っています。

本年度は二千八百万円で百五十五分を局部改良、三百三十分の用地買収を終る予定です。

五十四年度は五十三年度買収した三百三十分を局部改良、同時に舗装工事を予定しています。五十四年度末には千二百三十分の県道が、二車線、幅員七分の県道に生まれ変わることになります。

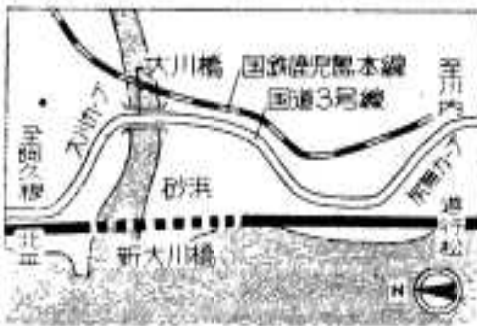
一口メモ

お祝い電報は十日前からうてる
「配達日指定」があります。
配達日三日以前にうちますと百五十円の割引となります。

魔の大川カーブの解消へ

3号線 大川橋を新設

工事が始まった大川橋



建設省は交通事故の多発地帯となつてゐる国道3号線の大川カーブ1反無カーブ間一・四を整備する計画をたて、とりあえず五十三年度から五十七年度までの五年計画で、大川カーブを改良する大川橋の新設工事に着手しました。同地区の国道3号線はS字型の急カーブのなかに、二か所のバス停留所があり、交通量の増加につれ事故多発地帯となつてゐます。このため速度を三十キロ制限にしてゐるものの交通事故はあとをたたく、阿久根警察署の調べでは最近

一年間に死者一人、傷者十二人を含む人身事故七件と物損事故十一件が発生。魔のカーブと呼ばれる大川橋の新設工事は、このカーブを避けて直線にするもので、五十七年度までに約塙水庫から南側八百六十メートルを予定、四車線の用地を買収、将来の交通量の増加に備へることにしてゐますが、まず車道七メートル、歩道二・五メートルの国道を整備。五十三年度は約三億二千万円で全長二百七十七メートルの大川橋の下部工と大川海岸の局部改良に着手しました。同工事は、坂元市長が就任以来、国に陳情して実現したもので、完成しますと同国道のネットワークが一部解消されます。

市道を県が改良

総事業費 二億二千万円
内田橋から二・四キロ

多田の内田橋から、桑原城・稚産飼育所前までの市道・中央線約二千四百一十メートルを、県が市に代つて改良する県代行中央線道路新設改良工事が、このほど着工。五十三年度事業として、三月までに五百メートルが改良されることになってゐます。



赤はげ橋も架け換え

同事業の総事業費は二億二千万円。五十五年度完成の予定で、五十年着工してゐます。これまでは鶴川内中学校の前付近が完成。本

年度は四千五百万円、橋梁一基を含む五百メートルを改良します。新しい道路は片道一・五メートルの歩道を設け、二車線幅員九メートルの道路にする計画で、同地区の基幹道路として期待されてゐます。

「どうですか？」
寒さに負けず
運動しよう

男性12分、女性5分
一日の平均スポーツ時間

お正月の休みは、ごちそうの食べすぎ、飲みすぎが続く、とたく運動不足になりがちです。

ところで、私たち日本人が一日にどのくらいの時間を運動に当ててゐるか、ご存じですか。男は十二分間、女はわずか五分間。これが国民一日一人当たりの平均スポーツ時間です。

さらに年齢別にみますと、十五歳から十九歳の人は男性二十七分、女性十四分ともっとも多く、二十歳から二十四歳になると男性十六分、女性六分と半減してゐます。スポーツ時間は年齢が高くなるにつれて短くなり、六十歳以上になると男性七・九分、女性はわずか二・三分にすぎません。

最近の日本人は、一日五時間以上の自由時間をもつてゐるといふ結果がでてゐます。この時間は、主としてテレビ、ごろ寝、新聞、雑誌などに費されておき、散歩やスポーツには、わずか数分しか使われてゐません。お正月の間に体がなまってしまわないように！

10年ぶり県営住宅

総事業費 1億5,000万円 南方神社近くに24戸



工事が進む県営住宅山下団地

総事業費約一億五千万円で被留南方神社近くに県営住宅山下団地の新築工事が着工。三月末完成を目標に工事が進んでいます。

県営住宅の建設は下木場住宅の建設以来、十年ぶり。新しい県営住宅は鉄筋コンクリートづくり。四階建て二十四戸で総面積は千五百八十一平方メートル。バルコニー、階段部分を含めて、一戸当たり約六十九平方メートル（約一〇・八坪）。間取りは六畳一間と四・五畳、それに台所、便所、浴室などです。

同住宅は第一種公営住宅です。で、入居できる家庭は夫婦子供二人の標準的な家庭の場合、年収二百五十万円以上二百六十三万二千円

三月までに八百メートル完成

県営過疎
基幹農道
56年度全線開通

多田の内田から丸内を経て野田町受之口に通じる県営過疎基幹農道整備工事が着工。五十三年度は

約四千二百万円にて起点となる内田の平田橋から大下公民館前までの八百七メートルに農道を新設。三月には

以下の家庭。出水土木事務所では「三月一日から三月十日まで入居者を募集。三月十五日頃抽選の予定です」と話しています。

広域農道 54年度着工

十年計画、60億円

出水市針原―大川島間三十一・九九メートルに農道を新設する広域農道整備事業は、一部、本年度から着工。五十四年度から本格的な農道新設に着手します。

同農道は西目大川島を起点に山下、鶴川内を経て出水に通じるもので、本市関係は七・三六メートル。二市二町とも五十四年度から用地買収、一斉に農道新設となりま

す。なお同事業は建設省関係を含め約六十億円。六十二年完成。

完成する予定です。

同農道は総事業費一億七千万円で五十一年度着工。五十六年度までの六年間に、内田―受之口間二・七メートルに橋梁五か所を含む農道を新設することになっています。

これまで、五十一年度に一号橋として内田の平田橋を架け換え、五十二年度は折口川の上流、丸内受之口間に四号橋を架設。本年度から本格的な農道の新設工事に着手したものです。

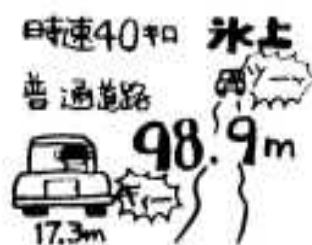
五十四年度は大下公民館前から北側に約四百メートルの農道を新設、五十六年度全線開通の予定です。



着工した過疎基幹農道

氷雪路

時速四〇キロは高速と同じ



氷雪路と普通の道路の大きな違いは、なんといっても滑りやすいことです。ブレーキの踏み方とハンドル操作ひとつで、自動車は運転者の意志どおりには動かなくなり、鉄のかたまりと化してしまうのです。

警察庁科学警察研究所の調査によると、たとえば走行時速四〇キロで急ブレーキを踏んだ場合、乾いたアスファルト道路なら十七・三メートルで停止しますが、アイスバーン状態に固まった雪上では五十一・四メートル。氷上ではなんと九十八・九メートルも左右に首を振りながら突っ走り、やっとなります。

この制動距離から考えますと、氷雪上を時速四〇キロで走るということは、普通の道路を時速一〇〇キロ以上の高速で走ることと同じだといえるようです。アツと思ったときはもう遅いのです。

阿久根を開く国・県の事業

新年の抱負

昨年、全国身体障害者スポーツ大会で金メダルを獲得した

弓木野 迫田真さん



昨年は十月二十八日から二十九日まで、長野県松本市で行われた第十四回全国身体障害者スポーツ大会に出場。砲丸投げで金メダルを獲得する幸運にめぐまれました。今年には三男が結婚。子供たちもみんな片付きますが、健康が第一。体に注意しながら仕事に精出したいと思

います。(農業、53歳)



伝統の「美風」
継いで奉仕活動

川内実業高校生

阿久根市内から通学している川内実業高校の青龍茂人君ら二十三人が十二月二十一日、伝統の美風を受け継いで聖園特別養護老人ホーム(笠井政江園長)を訪れ、窓ふき、すす払い、床などの清掃作業を行いました。

これは、市内に住む同校生が白主的に計画、クリスマス前に奉仕活動しているもので、もう十年以上続いており、すっかりなじみになったおばあちゃんたちは、十二月になると窓ふき用のゾウキンを作って待っているほど。

同校の赤崎弘照先生は「これはもう伝統となっており、生徒が白主的に行っているもので、私は、ただの付添いすぎません」との話。また笠井園長は「毎年皆さんのおかげで、きれいになり、安心してクリスマスを迎えることができます」と喜んでいました。



手作りのモチをプレゼント

菘野スクボーツがお年寄りに

「体の不自由なお年寄りに、楽しい正月を」と十二月十七日、菘野スクボーツクラブ(羽田義成会長十五人)の皆さんが、言葉通老人ホーム「蓮の実園」を訪れ、モチをついてプレゼントしました。同クラブは一昨年六月発足、昨年の例会でボランティア活動にも取り組むことになり、二アの水田を借りてモチ米を栽培。手作りのモチ米でモチをつき、同ホームにプレゼントしたものです。

また、部落内の七十歳以上のお年寄りにもプレゼント。つきたてのモチを手で感懐したお年寄りたちは「今年の正月のモチは、いつものモチよりおいしそうです」と喜んでいました。

市民のひろば

今年羊年

今年のはとは、羊です。最近ではペットネームのようなかたちで、動物のえとが親しまれています。特に、コマージュルベスで、えとが盛んに愛用され、去年の秋から暮れにかけては、羊が、撮影モデルとしてプロダクションからひっぱりだこ。牧場にもカメラマンがゾロゾロ。おかげで羊たちが「メエーワクダ」と言ったとか。

自衛官を募集
3月31日締切

昭和五十三年度の第四次自衛官(二等陸士、二等海士および二等空士)を募集いたします。

○応募資格
採用予定月の一日現在で、満十八歳以上二十五歳未満の日本国籍を有する者で、学校教育法に定める欠格条項に該当しない者。

○試験科目
中学校卒業程度の学力について行う筆記試験、国語、作文、数学、社会、身体検査、適性検査および口述試験。

○募集期間
昭和五十四年一月一日から五十四年三月三十一日まで。

「産業祭特価」大もて

二・三割引に消費者殺到

年末を迎えて恒例の産業祭が、十二月十六・十七日の両日、市民会館で盛大に行われ、会場は四千七百人の出入でにぎわいました。



大ホールでは、市内でできた農林水産物や商工業製品が市価の二・三割引まで即売され、正月も間近かとあって、たいへんな盛況ぶりでした。

生活改善グループは、生活工夫展を設けて手作りの漬物類を展示即売する一方、そのつけ方も指導して主婦らに喜ばれていました。

不況の中の産業祭とあって二・三割引に消費者が殺到

また、実演コーナーでは、竹を使った遊び道具の作り方を教えており、子供たちは、ナイフやノコギリを手に、手作りの竹馬や竹トンボ

で楽しんでいました。このほか、緑化樹・花木展などもあり、会場には、市内各地から精魂こめて作られた立派な作品が陳列されていました。産業祭はすっかり定着、売上高は約五百万円に達し、これまでにない盛り上がりを見せました。

中里さんらを表彰 老人身障者作品展

第六回北陸地区老人・身体障害者作品展が、産業祭と同時に市民会館で開催され、それぞれの経験と技能を生かし、優れた作品が展示即売されました。

北陸地区の各市町村から出された作品の中には、ザル、ホウキ、フゴなどのほか、盆栽、人形など立派なものが数多く展示即売されており、しかも市価より安いとあって大勢の人で、にぎわっていました。



産業祭と同時間開催の老人身障者作品展には力作がズラリ

した。この中から優秀作品として阿久根市からは、次のかたが表彰されました。(順不同、敬称略) 中里まつえ、有田市次、菅原半蔵、川畑カミノ、中野時義、武内国雄、白岩鉄正、中野静雄、若松清

市長賞に

- 八郷かおりさん
- 小原博代さん

昭和五十三年度読書感想文コンクール審査が十二月六日と十六日に行われ、八郷かおりさんが入賞しました。各賞は次のとおりです。(順不同、敬称略)

◎市長賞

- 八郷かおり (単人中三年生)
- 小原博代 (阿久根中三年生)

◎議長賞

- 渡瀬充 (三笠中一年生)
- 有田賢一郎 (阿久根小六年生)

◎教育長賞

- 新郷浩子 (阿久根小五年生)
- 中野秀則 (大川小四年生)

◎南日本新聞社賞

- 小幡純一 (田代小二年生)
- 折賞

◎折賞

- 鶴田ゆかり (田代小一年生)
- 山口一秀、谷口智栄、沖吉啓子、根比春子、山下久則、赤崎琢也、奥田真由美、大田知子、高橋久美子、若松津子、中野清美、尾崎かおり、入尾野美千代、寺岡久子、中平裕子、山下調子、西園理恵、佐藤美恵子、福田留美子、桑原奈穂美、鳥飼恭子、奥平高広、山本孝子、沢村信子

◎入選

- 浅野京子以下九十四名

わたしの お父さん ⑩

鶴川内小学校4年生

東園 忍



東園和明さん

ぼくのおとうさんは、大工をしています。朝早く家を出て仕事に行き、遠く鹿角島にも出かけることがあります。そして夜遅く帰って来るので、「たいへん疲れているだろうな」と思います。

ぼくも大人になったら大工になります。そして、立派な建物をた

くさん建ててみたいです。それで今、大工道具の名前をできるだけ多く覚えようとしています。でもうまくいきません。おとうさんは「覚えても、道具を使わんと忘れてしまうよ」と笑います。

早く大きくなって、おとうさんといっしょに仕事をしたいです。

お知らせ

1月23日から 市県民税申告

昭和五十四年度で課税される市県民税の申告受け付けは、別表のよう
うに一月二十三日から二月二十二

日まで、市内各地の公民館で行わ
れます。

地方税法では、皆さんの所得に
対する課税率が定められており、
その所得額は、皆さんが自分で申
告するようになっています。

このように市県民税申告は、今

年の皆さんの課税額を決める大事
な申告ですので、必ず申告するよ
うにいたしましょう。

税の知識シリーズ①

還付申告は早目に

今年も確定申告の時期が近づき
ました。

ところで、災害を被ったり、多
額の医療費を支払ったり、住宅を

新築したりした人には、特別の控
除があり、確定申告をすれば、す
でに源泉徴収された税金が返って
くる場合があります。

この還付を受けるための申告は
いつでもできますが、確定申告の
時期になると混雑することもあり
ますので、なるべく早目にしてく
ださい。

なお、くわしくは税務署が税務
相談室へお尋ねください。

月/日	部 落	時 間	月/日	部 落	時 間
1 23 火	尻無上	小麦 9:15~12:00	2 7 水	脇本馬場 9:30~14:00	8 木
		表川内 13:30~16:00		上原 9:30~12:00	
24	尻無中	鈴木段 9:15~12:00	8 木	下村 13:15~15:30	9 金
		南畑 13:30~16:00		橋ノ浦東 9:30~12:00	
25	尻無下	9:15~12:00	9 金	筒田 13:30~15:00	10 土
		川畑・川畑中 13:30~16:00		古里 9:30~14:00	
26	仲仁田	長迫 9:15~12:00	10 土	桐ノ上 9:30~12:00	11 火
		仲仁田 13:30~16:00		桐ノ下 13:15~16:00	
27	的場	9:15~12:00	11 火	大淵川 9:30~11:00	12 水
		野元 9:15~12:00		笠山 11:15~12:00	
28	中屋敷	中屋敷 13:30~16:00	12 水	松ヶ根 13:30~15:00	13 木
		9:15~15:00		米次 9:30~12:00	
29	牛ノ浜	9:00~12:00	13 木	尾原 13:30~16:00	14 金
		大川島 9:00~12:00		羽田 9:15~11:00	
30	飛松	13:30~16:00	14 金	宮原 9:15~11:00	15 土
		9:15~11:00		木佐木野 9:15~11:00	
31	馬見塚	9:15~11:00	15 土	黒ノ浜 9:15~14:00	16 日
		高ノ口 9:00~14:00		瀬ノ浦上 9:15~12:00	
1 2 火	佐潟	9:00~14:00	16 日	瀬ノ浦下 13:15~16:00	17 月
		本ノ牟礼 9:30~12:00		浦 9:00~12:00	
2 3 水	落	13:30~15:00	17 月	牧内 13:15~16:00	18 火
		山下馬場 9:00~12:00		東牧内 9:00~11:00	
3 4 木	遠矢	13:00~16:00	18 火	大尾 13:15~16:00	19 水
		弓木野 9:15~12:00		段 9:00~14:00	
4 5 金	尾崎	13:15~16:00	19 水	中村 9:00~12:00	20 木
		甚野 9:15~12:00		倉津 13:15~16:00	
5 6 土	横手	13:15~16:00	20 木	長谷 9:15~11:00	21 金
		梶 9:30~12:00		桑原城上 13:30~15:30	
6 7 日	内田	13:30~16:00	21 金	桑原城下 9:15~12:00	22 土
		大下 9:30~12:00		寺山 13:15~16:00	
7 8 月	丸内	13:15~15:30	22 土	陳之尾 9:30~11:00	23 日
		田代中 9:30~12:00		大尾林 9:30~11:00	
8 9 火	田代下	13:15~15:30	23 日	遠見ヶ丘 9:30~11:00	24 月
		折口東 9:30~12:00		瀧 9:00~15:00	
9 10 水	牟田	13:15~15:30	24 月	浜 9:00~13:00	25 火
		永田上 9:30~12:00		町 9:00~14:00	
10 11 木	永田下	13:15~15:30	25 火	上野 9:00~14:00	26 水
		八郷 9:30~12:00		新留 9:00~15:00	
11 12 金	小瀬	13:15~15:30	26 水	高松 9:00~15:00	27 木
		大瀬 9:30~12:00		丸 9:00~15:00	
12 13 土	橋ノ浦西	13:15~15:30	27 木		28 金
		深田 9:30~12:00			
13 14 日	脇本	13:15~16:00	28 金		29 土
		脇本 9:30~12:00			
14 15 月	大谷	9:30~12:00	29 土		30 日
		黒之上 13:15~16:00			

東京など四会場で 鹿児島県の物産展

昭和五十三年度鹿児島県の農産物
直送フェアが開催されます。

これは大都市の消費者に対し、
本県農産物の展示販売を行うこ
とにより、本県農産物について
の認識の向上と需要喚起をはかっ
て消費の拡大と販売を有利にする
ために行われるものです。県外に
住む皆さんの家族や友人を、鹿児
島の特産品がお待ちしています。
詳細については次のとおり。

●会場

- ①東京会場 京王百貨店八階会場
(東京都新宿区)
- ②名古屋会場 松坂屋名古屋店地
下会場(名古屋市中区)
- ③大阪会場 阪急百貨店地下会場
(大阪市梅田)
- ④広島会場 天満屋広島店八階催
場(広島市胡町)

●会期

- ①東京会場 1月26日~2月4日
- ②名古屋会場 1月18日~1月23日
- ③大阪会場 2月2日~2月7日
- ④広島会場 2月23日~2月28日

●販売主体

野菜類、果実類、茶、食肉(ハム類)、肉(牛、豚、プロイラー)、農産加工品(漬物、黒糖、焼酎、味噌、特産菓子等)